

福島県立医科大学 学術機関リポジトリ



Title	災害公衆衛生看護学講座(論文・著書・発表等)
Author(s)	
Citation	福島県立医科大学業績集. 30: 369-371
Issue Date	2020-03-19
URL	http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1206
Rights	©2020 福島県立医科大学
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2023-05-04T19:59:38Z

関口美穂. アフタヌーンセミナー4: 腰痛の評価と疼痛管理の動向～特効薬は何なのか?～. 第47回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20180412-14; 神戸. Journal of Spine Research. 9(3):256.

関口美穂. 運動器疾患に伴う神経障害性疼痛の評価～診断から治療まで～. 疼痛 Academy; 20180921; 名古屋.

関口美穂. ランチョンセミナー: 脊椎疾患に伴う神経障害性疼痛 病態・評価・倫理面から治療を考える. 第11回日本運動器疼痛学会; 20181201-02; 滋賀. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 10(1):16.

災害公衆衛生看護学講座

論 文

〔原 著〕

Rakwal R, Hayashi G, Shibato J, Deepak SA, Gundimeda S, Simha U, Padmanaban A, Gupta R, Han SI, Kim ST, Kubo A, Imanaka T, Fukumoto M, Agrawal GK, Shioda S. Progress Toward Rice Seed OMICS in Low-Level Gamma Radiation Environment in Iitate Village, Fukushima. Journal of Heredity. 201802; 109(2):206-211.

山田智恵里, Bolormaa Tsedendamba, 堀内輝子, 片桐和子, 末永カツ子, Enkhtuya Palam. モンゴルでの被曝対策住民活動の導入 介入前健康調査報告. 日本国際看護学会誌. 201803; 1(1):25-34.

〔総説等〕

末永カツ子. 東日本大震災後の中長期視点での災害時保健活動の再考. 保健師ジャーナル. 201803; 174(3):2-8.

〔その他〕

浦田秀子, 新川哲子, 末永カツ子, 山田智恵里, 田中祐大, 大石景子, 南原摩利, 高橋真菜美. 放射線看護の専門職育成に向けて 長崎大学・福島県立医科大学共同大学院. 日本放射線看護学会誌. 201803; 6(1):80-81.

林 剛平. あなたにとって飽きない建築とはどのようなものですか? (アンケート). 建築と日常. 201805; (5):39-42.

林 剛平 (写真). 映像人類学を知るための最新トピックス アーティストとの協働や新たなプロジェクトが進行中. 美術手帖. 201805; (2018年6月号):76.

野内彦太郎, 林 剛平. この土地で暮らす・育てる・つくる (インタビュー). うかたま. 201806; 51:88-93.

著 書・訳 書

末永カツ子. 新任期から担う公衆衛生看護管理機能. In: 井伊久美子, 荒木田美香子, 松本珠美, 堀井とよみ, 村嶋幸代, 平野かよ子 編. 新版 保健師業務要覧 第3版 2018年版. 東京: 日本看護協会出版会. 201801. p.196-222.

沢野信浩, 林 剛平 (作図). セシウム137による汚染状況 福島第一原発事故による汚染地図. In: 原発災害・避難年表編集委員会 編. 原発災害・避難年表 図表と年表で知る福島原発震災からの道. 東京: すいれん舎; 201803. p.187.

大浪優紀 (文), 林 剛平 (インタビュー). 47 REASONS TO TRAVEL IN JAPAN 007 福島 欽藍社. In: D&Department Project 編. d design travel IWATE. 東京: D&Department Project; 201811. p.157.

志賀理江子, 林 剛平, 清水建人 (執筆). ヒスロム的思考. In: hyslom(作). hyslom hysteresis (ヒスロムヒステリシス). 仙台: せんだいメディアテーク; 201812. p.74-77.

研究発表等

〔研究発表〕

小野寺悦子, 佐々木秀美, 本間洋子, 吉田和樹, 末永カツ子. 地域保健活動実践のための土台づくり (第2報) ～「専門職としてありたい姿」の変化～. 第77回日本公衆衛生学会総会; 20181025; 郡山. 抄録集. 262.

本間洋子, 佐々木秀美, 小野寺悦子, 末永カツ子. 地域保健活動実践のための土台づくり (第3報) ～専門職研修による主体化のプロセス～. 第77回日本公衆衛生学会総会; 20181025; 郡山. 抄録集. 262.

松野あやえ, 佐藤純子, 小川美穂, 後藤 梓, 佐々木秀美, 本間洋子, 須藤庸子, 末永カツ子. 保健所を拠点とした管轄自治体との協働による保健師・管理栄養士の人材育成. 第77回日本公衆衛生学会総会; 20181025; 郡山. 抄録集. 523.

〔シンポジウム〕

末永カツ子. 中長期視点での災害後の公衆衛生活動のあり方と専門家の役割. 第77回日本公衆衛生学会総会; 20181025; 郡山. 抄録集. 140.

林 剛平. 東京電力福島第一原子力発電所事故による環境放射能汚染把握のための航空機モニタリングデータの解析. 放射性物質環境動態・環境および生物への影響に関する学際共同研究」2018年度キックオフ・シンポジウム; 20180618; つくば.

〔その他〕

末永カツ子, 堀内輝子, 大森康孝, 山田智恵里. モンゴルの対被ばく住民活動の展開. 日本国際看護学会第2回学術集会; 20180915; 福島.

その他の業績・作品等

林 剛平. 放射能汚染地における藍の6次化開発. 20180115. フィールドワーク.

国際被ばく公衆衛生看護学講座

論 文

〔原 著〕

Hasegawa A, Takahashi M, Nemoto M, Ohba T, Yamada C, Matsui S, Fujino M, Satoh K. Lexical analysis suggests differences between subgroups in anxieties over radiation exposure in Fukushima. Journal of radiation research. 201804; 59(Suppl_2):ii83-ii90.

山田智恵里, Bolormaa Tsedendamba, 堀内輝子, 片桐和子, 末永カツ子, Enkhtuya Palam. モンゴルでの被曝対策住民活動の導入 介入前健康調査報告. 日本国際看護学会誌. 2018; 1(1):25-34.

〔その他〕

浦田秀子, 新川哲子, 末永カツ子, 山田智恵里, 田中祐大, 大石景子, 南原摩利, 高橋真菜美. 放射線看護の専門職育成に向けて 長崎大学・福島県立医科大学共同大学院. 日本放射線看護学会誌. 201803; 6(1):80-81.

研究発表等

〔その他〕

山田智恵里, 末永カツ子, 堀内輝子, 大森康孝. モンゴルの対被ばく住民活動の展開. 日本国際看護学会第2回学術集会; 20180915; 福島.